

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

取得年月と取得価格

本マニュアルP26と同様、「減価償却資産集計表」を参照して転記してください。

調査票 P11

番号	名称等	種類 コード	型式 コード	新 品	古 中	耐用 年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>購入金額から補助金を控 除した額を記入してください。</small>	修繕費 (円) <small>当年の当該自動車等の 修繕費を記入してくださ い。</small>	自動車保険料 (円) <small>当年の当該自動車 等の保険料を記入し てください。</small>	自動車・ 軽自動車税 (円) <small>当年の当該自動車 等の自動車税又は軽 自動車税を記入し てください。</small>	当年、車検を受けた自動車等 について記入してください。		対象 品目 負担 割合 (%)	年内異動状況		
							年 (西暦)	月					自動車重量税 (円)	自賠償保険 (円)		異 動 コ ー ド	売却金額 (円) <small>廃棄（無償譲渡を含む。）した 場合は、「0（ゼロ）」</small>	
1	軽トラ	1	1	○	○	3	20	14	4	850000	500000	350000	40000	265000	66000	15		
2	普通乗用車	2	2	○	○		20	13	1	1500000	200000	400000	450000			20	1	500000
15	貨物トラック (4戸で共同所有)	1	3	○	○		20	19	12	3800000		3500000	115000			15		

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。
建物の修繕費と同じですが、合算されているので、元帳で内訳を確認します。

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
修繕費				170,000	
建物修繕費				50,000	
農具修繕費				50,000	
車修繕費				70,000	

自動車保険料、自動車・軽自動車税、自動車重量税、自賠償保険

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。

この事例では、租税公課の補助科目として「自動車税」等を、損害保険料の補助科目として「自動車保険料」を設定しています。
ここでは、各項目毎に合算されているので、元帳で更に内訳を確認します。

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
【販売費一般管理費】					
租税 公課				335,100	
固定資産税・建物				65,000	
軽・自動車税				★ 68,300	
自動車重量税				26,500	
自賠償保険				6,600	
損害保険料					
自動車保険料				425,000	

★「軽・自動車税」には、次ページの農業機械の税金も含まれます。

【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

番号	名称等	種類コード	型式コード	新区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円)				農業経営基盤 強化準備金 (円)				修繕費 (円)				保険料 (円)				軽自動車税 (円)				対象品目 負担割合 (%)	年内異動状況	
						年 (西暦)	月	購入金額から補助金を控 除した額を記入してください。				農業機械の購入のために取 り崩した準備金の額を記入し てください。				当年の当該農業機械や 生産管理機器の修繕費を 記入してください。				当年の当該農業機 械の保険料を記入し てください。				当年の当該 農業機械の軽 自動車税を記 入してください。					異 動 コ ー ド	売却金額 (円)
1	トラクター	43	○	○	4	2000	3	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	2	0			
2	トラクター（リース）	43	○	○		2017	11	5	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15						
3	普通型コンバイン (4戸で共同所有)	216	○	○		2005	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80						
15	自脱型コンバイン	202	○	○		2019	11	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15						

農業機械等の取得年月と取得価格

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。
各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

減価償却資産集計表

コード 事業区分 資産区分	資産名称 摘要				取得価格 交付金等 差引取得 償却基礎金額
	取得年月日 売却除去日	償却方法 事業専用	耐用年数 数量	償却率 残存1	
1 農業 農業機械	トラクター				5,100,000
	2000/3				
2 農業 農業機械	トラクター（リース）				5,840,000
	2017/11				
3 農業 機械装置	普通型コンバイン（4戸で共同所有）				700,000
	2005/5				
4 農業 機械装置	自脱型コンバイン				8,300,000
	2019/11				

修繕費

ダイレクトメニューで
【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】
と進みます。合計残高試算表の決算・**全部門**
・損益計算書を参照します。

損益計算書

勘定科目	全部門		残高	構成比 (%)
	繰越	借方金額 貸方金額		
《経常損益の部》				
[営業損益の部]				
【生産原価】				
修繕費			170,000	
建物修繕費			50,000	
農具修繕費			50,000	
車修繕費			70,000	

軽自動車税

租税公課の補助科目として設定した、軽・
自動車税（前ページ「損益計算書」）を参
照してください。
ただし、合算されている場合は、元帳に
遡って詳細を確認します。

【10】 農具の購入費等

調査票 P13

● 農具・農業被服等の購入費

名 称 等	金 額 (円)	対象品目 負担割合 (%)	内 容 例 示
(計)	55000	2.5	【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

● 生産管理関係の費用

名 称 等	金 額 (円)	対象品目 負担割合 (%)	内 容 例 示
(計)	44000	2.0	【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費

農具・農業被服等の購入費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。
農業簿記では、「農具費」と「作業用衣料費」の勘定科目がありますので、そのまま利用します。

ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て畑作で負担したと見なしています。

損益計算書		全部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【生産原価】					
農具費				4,000	
作業用衣料費				1,500	

生産管理関係の費用

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。
農業簿記では、「研修費」、「事務消耗品費」及び「通信費」等の勘定科目がありますので、そのまま利用します。

ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て畑作で負担したと見なしています。

損益計算書		全部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【販売費一般管理費】					
旅費交通費					
研修費				15,000	
接待交際費					
事務消耗品費				1,000	
通信費				28,000	
新聞図書費					

【11】 土地の面積及び地代

調査票 P14

1 所有地

(1) 作付地

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		対象品目 負担割合 (%)	地目	
		ha	a	ha	a		田	畑
1	はだか麦（A団地）	2	5.5	2	0.5	5.0 100	○	○
2	はだか麦（B団地）	1	3.0	1	0.0	100	○	○
3							○	○

数量の入力（土地台帳面積・作付実面積・対象品目負担割合）

「農業簿記11」では対応しておりません。
元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

(2) 建物敷地等

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		対象品目 負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	
1	車庫	1	3	1	0	10
2	納屋	0	4	0	2	10
3	倉庫	0	5	0	4	10

数量の入力（建物敷地総面積・使用面積・対象品目負担割合）

「農業簿記11」では対応しておりません。
元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【11】土地の面積及び地代（続き）

調査票 P14

2 借入地

(1) 作付地

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		支払地代 (円)				対象品目負担割合 (%)	地目			
		ha	a	ha	a	万	千	百	十		田	畑		
1	はだか麦 (K団地)	6	2.5	6	0.5	7	2	0	0	0	2	0	○	○
2	はだか麦 (L団地)	2	15.0	2	0.0	2	5	8	0	0	1	0	○	○

(2) 建物敷地等

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		支払賃借料 (円)				対象品目負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	万	千	百	十	
1										
2										
3										

数量の入力（建物敷地総面積・使用面積・対象品目負担割合）

「農業簿記11」では対応しておりません。
元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

支払地代

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、支払地代の補助科目として、「はだか麦 (K団地)」、「はだか麦 (L団地)」を設定しています。

損益計算書		全部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【生産原価】					
支払地代				330,000	
はだか麦 (K団地)				72,000	
はだか麦 (L団地)				258,000	

数量の入力（土地台帳面積・作付実面積・対象品目負担割合）

「農業簿記11」では対応しておりません。
元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【12】 作業別労働時間

1 家族労働時間

2 雇用労働時間

作業種類	内容例示	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	氏名	性別	年齢	雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
		農林太郎	男	70	農林花子	女	70	農林一郎	男	40	(農水)同居人	男	25	手ゆい・手間替受	女	手伝い受				
種子措	選種、浸種、種子消毒、催芽			時間			時間			時間			時間			時間		種子措	選種、浸種、種子消毒、催芽	
刈脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理			10			5			10			5			5		3	刈脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理
乾燥	乾燥、調製									5			5						乾燥	乾燥、調製
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）			8			3												生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等			6						20									間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

労働時間

「農業簿記11」では対応しておりません。
元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

3 支払賃金

区分	支払賃金（円）	対象品目負担割合（%）
男	25,000	15
女	10,000	25

支払賃金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、雇人費の補助科目として、「男雇用」、「女雇用」を設定します。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
[営業損益の部]					
【生産原価】					
雇人費				35,000	
男雇用				25,000	
女雇用				10,000	